

牧内 裕 の 略歴

1956 東京大学農学部水産学科卒業（水産化学専攻）

1956 – 1967 ニチレイ 1957-1965 米国ボストン、ツナプロダクトコーポレーション（日産、日立創業の鮎川家とニチレイの最初の共同事業）出向、食品加工場運営、営業、鮪の中継輸出、最初の日本トロール船の北大西洋での試験操業担当

1967-1972 **CPC Japan**（米国最大のコーンスターチ会社 **CPC International** の日本法人） 新規事業開発担当

1972-1975 父の死に伴い帰郷、**家業**（水引製造）に従事

1975-1995 **テクノベンチャー [株]**（故鮎川弥一氏主宰の日本唯一の真性 VC）
[担当業務]—（技術移転、現地企業立ち上げ運営、子会社合弁会社運営）
代表取締役副社長

主要担当業務：

* **Genentech**—（最初の遺伝子工学応用製薬企業、米国）、ベンチャー投資・育成、技術提携仲介

* **T-Cell Science**（応用免疫学、米国）—日本子会社設立援助、取締役としての経営参加

* **Amtrol**（配管機器、米国）—進出援助、日本子会社開設運営

* **I-Stat**（携帯型全血液分析計、米国）—研究開発契約と業務提携仲介

* **AspenTech**（化学工程管理、米国）進出援助、現地法人設立支援

* **Florasynth**（香料会社、米国）—進出援助、日本法人設立支援、運営受託

* **日本栽培水産**（テクノベンチャー、三井造船、三菱商事、日本配合飼料合弁えび類養殖技術）—専務及び社長として会社運営

* **テクノセールス**（テクノベンチャーグループの物流、物販会社）—設立、社長として運営

1996-1998, 4月 **日本 RSA (株)**（公開かぎ暗号技術の世界標準、**RSA-DSI** の日本法人）

設立時 CFO として参画、NTT エレクトロニクス、NEC、ソニー、シャープ、

松下電送、三菱マテリアル、東京三菱銀行等金融機関6社計12社の資本参加を得て1年半で基礎確立

1998,4月—6月 **Kinko's International Asia Office**

Director として数社の有力な企業顧客を開拓

1998,7月—現在 個人コンサルタント会社、**PRIME INC.** 設立、代表取締役
その間三菱マテリアルの無線データ通信新事業のコンサルタントとして約3年間契約

2002,3月—現在 新しい”Noble Life”の **V-Gent KK** 設立,代表取締役就任

2008,2月—現在 **VeriSign Inc. Advisor** (RSA 派生の世界最大の情報・データ認証会社)

その間 2008年4月—2009年3月、日本 VeriSign (株) 取締役 その後はシニア アドバイサー